



学校だより

(12月号) 平成28年12月1日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

【学校の教育目標】

◎ 夢(ゆめ)にむかって ともに学びあう学校

- ・進んで勉強する子
- ・自分からあいさつのできる子
- ・仲よくたすけあう子
- ・じょうぶな子

《今月の生活目標》手洗い・うがいをしっかりしよう

大 掃 除

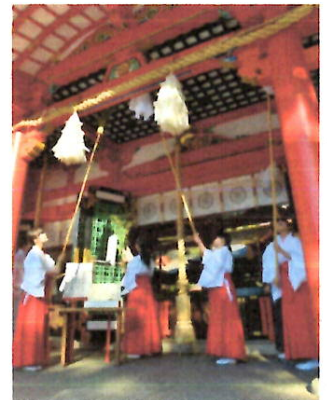
校長 清水 肇

平成28年もあとわずかとなりました。12月といえば「大掃除」ですね。ある説によれば、大掃除はもともと宮中で行われたすす払い(12月13日)が原型で、平安時代から続いているそうです。お正月の神様を気持ちよく迎え、新年の安泰・五穀豊穡を祈る意味があるそうです。

中国では春節の前、イギリス・ドイツでは「スプリング・クリーニング」といい春に大掃除を行う習慣があるそうです。

さて、皆様のご家庭ではいかがでしょうか。最近、特に大掃除を行わない、専門業者に任せるご家庭も増えていると聞きます。元々信仰からくる行事なので、強要はできませんが、長く日本に広く伝わる行事が衰退していくのは寂しい気がします。

少し話がそれますが、学校では毎日掃除をしています。しかも基本的なやり方は何十年も変わっていません。机や椅子を端に寄せて、ほうきではき、雑巾で拭く。おそらく、保護者の皆様が小学校の時に行ってきた掃除の方法と変わらないのではないのでしょうか。道具も基本的に変わっていません。教室で使うほうきは、一般のご家庭ではほとんど使われていないと思います。



新開小学校では、12月12日(月)～16日(金)を大掃除週間としています。自分たちの使っている場所は、自分たちできれいにします。公共の場所は大切に使う。といった教育的意義で清掃を行います。

このように、学校では古くから伝わる日本の伝統を大切にする活動も行っています。是非ご家庭でも話題にしてみてください。



11月22日(火)早朝の地震や24日(木)の積雪、驚きました。テレビの「すぐにげて」のテロップ、「今すぐに避難してください」とアナウンサーの叫びにもにた言葉。東日本大震災を思い起こした方も多かったと思います。

自然災害や異常気象は、もはや他人事ではなくなっています。過日参加した研修会で県内のある小学校の実践を聞く機会がありました。その小学校では、学校生活のあらゆる場面(授業中・清掃時間・休み時間等)場所(教室・体育館・校庭等)で、避難訓練(地震・火災・竜巻等)を行っているそうです。

本校でも、計画的に訓練を行っていますが、今後さらに充実させていかなければと感じました。「自分の命は、自分で守る」を合言葉に取り組んでいきます。

<11月の安全点検の結果、異常はありませんでした>